

Point

玄関、廊下、リビングなど、すぐに持ち出せる場所に置くようにしましょう

非常持出品・備蓄

準備するものにチェックをしましょう。(非常持出品袋の保管場所: リビング)



Point

- 非常持出品袋には、持ち運んで逃げるための必要最低限のものを入れましょう。
また、在宅避難をする場合は、電気や水等のライフラインや物流が止まることを考えて、最低3日分(できれば1週間分)の食料や水等を備蓄しておきましょう



おむつ、液体ミルクは〇日分用意

小さな子ども

- 母子健康手帳
おむつ・おしりふき
ミルク・ほにゅうびん
だっこひも など

高齢者

- 折りたたみ杖
常備薬・紙おむつ
老眼鏡・お薬手帳
入れ歯・洗浄剤 など

ペット

- 迷子札・ペット手帳
ペットフード
ケージ・リード・ペット用トイレ
ペットの写真 など

その他生活を送る上で必要なもの(メガネ・生理用品・髪ゴムなど)

- アルミブランケット・目隠しポンチョ・メガネ・生理用品・体ふきシート・カイロ・うちわ(夏)ぬいぐるみ・折り紙
【備蓄しておくもの(非常持出品袋とは別に保管)】
飲料水〇本、簡易トイレ〇回分・トイレ用ペーパー・ポリタンク
食料(カップめん・缶づめ(焼き鳥・フルーツなど)・レトルト食品・乾パン)〇日分
ランタン・カセットコンロ・ガスボンベ・ごみ袋 etc...

自宅(マンション10階)に津波の危険性がない家族
家族構成:父・母・わたし・弟(0歳)

家族との連絡方法(安否確認の方法)を考えて、チェックしましょう

Form for checking communication methods with family members (father, mother, self, boss) including phone, SNS, and public phone options.

いざという時に、家族などへ送るメッセージや伝言を考えてみましょう。

(例:【だれ】は、【どこ】へ避難しました。ケガもなく無事です。)

わたし:「〇〇(場所)」にいます。ケガは「有・無」です。
お父さん:「仕事場」にいます。「〇日間・しばらく」帰れそうにありません。連絡の返信もできないかもしれません。



Point

家族の安否や連絡する方法を考えて共有しましょう。
また、いざという時に備えて、ツールの使い方や公衆電話の場所なども確認しておきましょう

Point

メガネや持病の薬など、それがないと生きていけないものは用意しておきましょう。
ミルクやおむつなどの赤ちゃん用品も、すぐには手に入らない可能性があるため、用意しておくようにしましょう

エレベーターが止まると10階までの行き来が大変なので、多めに食料などを備蓄することにした

20~30cm (最大1.9m)
最新情報や被害などの最新情報を入手するようにしてください。

子どもの居場所が分からず、子どもを探し回ったそうです。
また、つなみのちにおかた

間に合わず、津波で命を落とした方もいます。

